

討議資料

北村 又方

活動報告書

第 6 号



議会の存在意義～Raison d'être du Parlement～

平成29年6月28日、新市庁舎の建設位置決定を意味する補正予算第41号議案が提出されました。市庁舎の建て替えは50年に一度、100年に一度になるやもしれぬ議案です。ブログでは本会議の経過を動画と共に発信しています。ご覧いただければ幸いです。

6月議会が閉会しました。

最大の論点になったのは市庁舎建設の位置。

市が4月に行った説明会や市民と議会の集いでも、賛成、反対、多くの市民の皆さんから多種多様なご意見を頂きました。

今回、第41号議案（補正予算）には庁舎建設計画の為の調査費が計上。

一般質問通告議員19名のうち13名が市庁舎建設について質し、この議案が実質的に新庁舎の場所を決める議案と定義されました。

議案についての賛否は拮抗。

調査費を棚上げする修正案が提出されるも、12：11にて否決。

補正予算は13：10にて可決されました。

これで現地周辺での庁舎建設計画が実質的にスタートすることになります。

私は「修正案反対、原案賛成」＝現地周辺での建て替えに賛成、という議決態度です。

私の主張は、

- ・ 決定プロセスについての批判を含め、全てが正論。
- ・ 最終的には場所の議論になり、何処を選んでも賛否がある。これは政治決断であり、市長が市民の理解を得るためにお願いして回る、という姿勢が必要。
- ・ 早急に着手することが、新庁舎建設にかかる市民負担を18億円軽減させる。

以上が私の議決根拠です。

この議案に関しては、会派でも賛否が分かれ、他の会派でも同様でした。たかが18億、されど18億。私の議決にご賛同いただけない方もいらっしゃるかと思います。棄権しては、というお話も頂きました。

しかし、有権者から付託された議決権を行使するのが私の存在意義です。ご理解を頂くべく、丁寧に説明を重ねていこうと考えています。50年に一度あるかないかの採決。その重みを感じた6月議会でした。

大村市議会
庁舎建て替え予算可決
基本計画策定費 修正案は否決

定例大村市議会は28日、最終本会議を開き、市庁舎建て替え基本計画策定費を含む約7億4700万円減額の本年度一般会計補正予算案など28件を可決、同意し閉会した。

本会議では補正予算案のうち、市庁舎建て替え基本計画策定費について「建設予定地の選考過程は市民の理解を得がたい」として、議員3人が関連予算約3300万円を削除する修正案を提出。「場所を内部の検討委だけで決めるのは拙速」という意見や「場所をどこにしようが綱引きが始まる」「有利な財源を活用して迅速に着手すべき」などという意見で割れたが、採決の結果、反対12、賛成11で否決され、原案通り可決した。

(平成29年6月29日・長崎新聞)

議会 活動

平成28年6月～29年3月、全4回の定例議会が開催されました。
全ての議会に登壇させて頂き、行政を質しました。
その内容をお知らせします。



28年6月議会

多良の森トレイルランを大村の地域資源に!

4月23-24日に開催された第一回多良の森トレイルランニングは、大村の自然を活かした、大村ならではの大会だ。エントリー400名中370名は市外、遠くは関東から。285名が市内に宿泊して頂いた。大会はボランティアで運営されており、継続開催に不安もある。市も実行委員会に参画し、大村に人を集める地域資源として育てるべき。

回答→多良の森トレイルランについては、大村市の自然を活かせるメニューだと考えており、大村市をアピールできるものに対しては積極的に取り組みたい。人員配置の問題等をクリアできれば、次回大会は共催したいと考えている。

消防団員加入要件の条例改正を!

防災意識が高まる昨今、消防団員は共助・公助の大切な担い手だ。団員の充足状況はどうか?近隣市町に近い福祉施設等には、市外から通勤する方も多が大村市の消防団には入団できない。その様な制限があるのは県内21市町で4市町だけだ。他市町と同様に勤務地が市内であれば、隣市からも入団できるように条例改正をすべき。

回答→消防団定員の700名に対し、6月1日現在で596名という状況。入団資格要件については、他自治体を調査した結果、改正の必要があると認識している。消防団長と協議を行いたい。

その他の質問項目

OMURA室内合奏団について/新市民大ホールおよび新庁舎の建設について/発達障害児の療育支援「キッズサッカースクール」について/学校における「聞こえ」の確保について

28年9月議会

第2回多良の森トレイルランの共催について

市長は共催したい、と明言した。進捗状況はどうか?まずは許認可関係や安全対策等、行政分野への支援、物産品をPRする人的支援等を行うべき。また、11月頃から準備会議を始めるとの事。会議に職員を出席させるべき。出席者は担当課に限定せず、広く庁内で募集しては。部局を超えて市民と繋がる仕事は職員力の向上にもなる。

回答→多良の森トレイルランニングの共催の進捗状況については、先日、大会関係者とお会いし、人的支援の協力があれば助かるとのことであり、経費面の話はなかった。また、市職員の人的支援については、共催の件と同時に考えていくが、スポーツが趣味の市職員の大会への参加も含め、進めていきたい。



小・中学校における勤労意識の涵養について

国内の人口減少が止まらない。持続可能な自治体運営のためには、生産世代が定住＝働く場所が必要である。大村で働きたい・起業したいという意識向上の為に、小・中学校でのキャリア教育を強化することが必要だ。愛媛県松山市は中小企業振興円卓会議と提携し「未来デザインゲーム」を始めた。大村市でも導入してはどうか？

回答→市内経営者による講話については、現在中学校において、職業講話を行っているため、取り入れることは可能であるとする。このような機会を設けることで、教室では経験できない貴重なお話や体験を通じて、子どもたちが、より一層明確な夢を持って頑張ることができるようにしたい。

その他の質問項目

職員の業務環境及び待遇格差の是正について／開票結果開示に要する時間について／期日前投票所の増設効果と今後について／集中豪雨による災害復旧とロックシェードの設置について

28年12月議会

オオムラビジネスカンファレンスの開催を！

先般、大村市中小企業振興会議より人材確保や人材育成等について提言がなされた。新年度の施策に反映して頂きたい。市内事業所の合同研修会、異業種交流会、学生や保護者を巻き込んだり相談会など様々な事業が考えられるが、総称として「オオムラビジネスカンファレンス＝オオムラ・ビジカン」として開催してはどうか？

回答→振興会議からの提言に対しては、官民が連携して取り組む必要があると考えており来年度から実施する予定で予算を含め検討を進めている。ネーミングも含めて今後研究し、来年度に向けて制度設計を固めていきたい。

新文化会館の建設が必要だ！

市民会館閉館の弊害が出ている。これまで「今年度中に建設の是非を決したい」という答弁だったが変更はないか？新庁舎と文化会館の同時建設を検討すべき。今後財政規模は縮小し、建設が難しい状況が進む。事業規模は大きくなるが、今やらないとできないかもしれない。同時建設する財政シミュレーションをやるべきだ。

回答→市民会館に代わる新たな施設については、検討委員会を設置し協議しているが、市庁舎はじめ他の施設の建設も含めて総合的に判断する必要がある為、今年度中に方向性を出すのは困難である。

その他の質問

骨髄移植ドナー支援制度について／「日本一幸せな従業員をつくる！」上映会の共催について／第2回多良の森トレイルランニングの共催について／ふるさと納税枠エントリーの導入について／「共催」のあり方について・障がい者の法定雇用率について／行政の障がい者雇用について／ICTによる業務効率化について／中心市街地複合ビル（旧浜屋ビル）について

29年3月議会

子ども達の保育環境の拡充を！

認可外施設での第二子無料化を求める声がある。認可施設を更に広げるべき。合わせて保育士の確保策も必要だ。また、障がい児保育を充実させるべき。入園を断られることもあるが現状はどうか。働く子育て世代には事業所内保育施設の利便性は魅力的。大村でも推進すべき。けん引役として市役所内に公募・設置しては、



回答→認可保育所への入所希望児童の急増により、待機児童が発生しているため、子ども・子育て支援プランを見直すとともに、受け入れ枠の拡大を目指し、現在、保育所等の運営事業者を募集している。障がい児保育については、現在実施している保育施設への助成事業等を今後も継続する。また、市庁舎内への保育施設の設置については、今後協議を進めたい。

ローカル

(第3種郵便物認可)

大村市は潜在的待機児童を含む待機児童が3月1日現在、前年同期と比べ97人増え、175人になることを明らかにした。3日の市議会一般質問で北村貴寿議員(みらいの風)に答えた。市子ども政策課によると、市内の認可施設は保育所18、認定こども園9、地域型保育事業12の計39カ所で、定員は計2715人。2014年度以降の3年間で450人分の受け入れ枠を拡大してきたが、15年度から入所希望者が急増したという。こうした背景を受け、市

大村待機児童175人

市議会一般質問 前年比97人増

大村市は潜在的待機児童を含む待機児童が3月1日現在、前年同期と比べ97人増え、175人になることを明らかにした。3日の市議会一般質問で北村貴寿議員(みらいの風)に答えた。市子ども政策課によると、市内の認可施設は保育所18、認定こども園9、地域型保育事業12の計39カ所で、定員は計2715人。2014年度以降の3年間で450人分の受け入れ枠を拡大してきたが、15年度から入所希望者が急増したという。こうした背景を受け、市

(平成29年3月4日・長崎新聞)

に就職する保育士には祝い金として5万円(非正規は2万5千円)を支給、市外から就職する場合には転入準備金としてさらに5万円(同)を支給するなどして、約60人の保育士確保を目指す。(左海力也)

大村湾を守る為には漁業を振興すべし!

漁業振興、漁業収入の安定化が大村湾の環境を守ることに繋がる。その為には新たな大村ブランドの確立が必要。殻のトゲがなく、身が柔らかい「姫サザエ」を積極的に売り出すべき。県へ漁業調整規則の改正を働きかけることも必要だ。また「獲るだけ」の漁業からの脱却し、6次産業化を進める為、水産加工施設を設置しては

回答→殻蓋の直径が2.5cm以下のサザエについては、水産資源保護の観点から、県の漁業調整規則で捕獲が禁止されているが、県が行ったサザエに関する成熟調査では、殻蓋の直径が2cm以下のものでも産卵率は80%との結果が出ている。このため、大村湾内の漁協の意向を踏まえ、県に規制緩和を働きかけたい。また、水産加工施設については、設置場所を含め、市内の漁協と協議しながら、積極的に進めたい。

その他の質問項目

新文化会館建設/入学式における発達障害の啓発/地域経済好循環の為の自治体ポイント事業/消防団員応援制度の導入/市民プールの利活用/第2回多良の森トレイルランニング 他



議事録全文は、大村市議会のホームページにて。
また、質疑の全映像もご覧いただけます。
ケーブルTV・FMおおむらでも放送中!

~インターネットラジオ放送中!~



他の議員との議会反省会や、様々な分野の皆さんとのトークライブをお楽しみ下さい。
ホームページ <http://takatosi.net> からお聞きいただけます。 iTunes でも配信中!

その他の活動

県政への挑戦を決意。

市内各所で街頭活動を毎日行っています。
ご声援頂ければ幸いです。



マラソン、トレイルランニングに挑戦!

第11回天草マラソンで初フルマラソンに挑戦しました。
30kmの壁に苦しみましたが何とか完走。
5時間27分でした。
第30回五島夕やけマラソン（ハーフ）のタイムは1時間58分。
第2回多良の森トレイルランニング（19km）は3時間24分でした。

議会ICT化プロジェクト座長に就任。

「議会の見える化」を推進するため、市議会のICT化を進めています。
29年6月議会からはペーパーレス議会がスタート。
iPadとSidebooksを導入し、事務局の効率化と情報共有を図ります。



全国各地へ行政視察に赴きました

- ・山形県南陽市「南陽市文化会館」
- ・福島県伊達市「伊達市婚活事業・協働のまちづくりにおけるD愛推進事業」
- ・神奈川県川崎市「公契約条例」
- ・石川県金沢市「学びのステップを大切にした新たな三学期制について」
- ・福井県鯖江市「データシティ鯖江・オープンデータ」
- ・石川県加賀市「市民主役条例」
- ・COLAS平戸・平戸市未来創造館&議員研修会
- ・日本Microsoft本社「働き方改革」
- ・東京区政会館「特別区全国連携プロジェクト」
- ・認定NPO法人ふるさと回帰支援センター
- ・福岡県嘉麻市議会・議会ペーパーレス化事業について
- ・静岡県袋井市「防災対策について」
- ・栃木県佐野市「新庁舎建設について」
- ・奈良県宇陀市「うだ・アニマルパーク、動物愛護センター」
- ・大阪府岸和田市「市民協働・事業者バンク」 ・東京都町田市「庁舎跡地活用基本構想」
- ・埼玉県志木市「新庁舎建設基本計画」 ・(株)JR東日本都市開発「2k540」
- ・東京都清瀬市「新庁舎計画」



実績

- ・市長マニフェスト評価・検証につながる行政評価制度の開始
- ・福祉避難所の指定開始
- ・障がい者雇用の推進、就労支援ガイドブック「働きたい」リニューアル
- ・大村市公式フェイスブック始動 ・議会インターネット放送開始
- ・病時保育所増設 ・行政窓口耳マーク(筆談マーク)設置
- ・介護支援ボランティアポイント制度一部見直し
- ・大村公園のバリアフリー提言書を提出、整備開始、花まつり期間中の歩行者天国化
- ・フッ化物洗口推進 ・学校等におけるAED使用講習強化
- ・第5次総合計画に新たな観光資源として車輛基地活用を明記
- ・プロポーザル制度の審査結果公表
ガイドライン強化
- ・人口ビジョンに10万都市の実現を明記
- ・玖島中学校へ「通級」設置
- ・総合運動公園の早期完成を求める請願書を
全会一致にて可決
- ・入札情報のセキュリティ強化
- ・中小企業振興基本条例の制定(県内初)
- ・骨髄ドナー支援制度を導入(県内初)
- ・発達障害啓発パンフレット作成および
小中学校への啓発。
- ・コンベンション宿泊補助の拡大
(100名以上を50名へ)
- ・消防団員加入資格の拡大。
- ・消防団員応援制度
(公共施設使用料の減免・県内初)
- ・議会ICT化プロジェクトが始動、ペーパーレス議会がスタート

～政治資金収支のご報告～

●平成28年政治活動収支

収入総額	957,214円
(内訳)	
・繰越	457,214円
・借入金	500,000円
支出総額	503,024円
(内訳)	
・組織活動費	75,480円
・機関誌の発行その他事業費	380,144円
・調査研究費	11,000円
・寄付、交付金	36,400円
資産等	
借入金	6,614,205円 (全て自己資金)

※県選挙管理委員会ホームページで全ての政治団体収支報告が閲覧できます。議会政務活動費については、大村市議会のホームページにて。

北村タカトシプロフィール

大村市議会議員 二期目 所属会派「みらいの風」

昭和48年2月6日生 水瓶座の〇型

大村市武部町在住 家族：妻 理子(医師:北村理子クリニック皮ふ形成外科)
長男 馨

- ・市立三城小学校 ・市立大村中学校
- ・県立諫早商業高校 情報処理科
- ・国立いさはやコンピュータカレッジ 卒業
- ・国立長崎大学大学院 経済学研究科(41歳で合格・在学中)
- ・社会福祉法人瑞鳳会 介護サービスセンターベイサイド大村 役員
- ・大村東彼防衛協会青年部 理事

○選挙歴

- 平成19年 大村市議会議員選挙 1,022票 落選
平成22年 大村市長選挙 3,236票 落選
平成23年 大村市市議会議員選挙 1,673票 初当選
・議会運営委員会 副委員長
・地場産業振興調査特別委員会 副委員長
- 平成27年 大村市市議会議員選挙 1,554票 二期目
・総務委員長
・議会ICT化プロジェクト座長

○政治運動関係

県内外で公開討論会を推進、コーディネーター等を務めました。

- 平成17年 郵政解散における長崎三区・衆議院議員選挙
平成18年 大村市長選挙において長崎県初のローカル・マニフェスト型公開討論会
平成20年 長崎一区・三区・四区 政権“せんたく”公開討論会
平成21年 福岡県柳川市長選挙 福岡県筑後市長選挙
平成22年 長崎県知事選挙 長崎県南島原市長選挙 長崎県参議院選挙
平成24年 熊本県知事選挙 福岡県筑後市市長マニフェスト中間検証
長崎県長与町長選挙
長崎県福江市市長選挙 長崎一区衆議院議員選挙
- 平成25年 熊本県菊池市長選挙
熊本県八代市長選挙
- 平成26年 長崎県長与町長マニフェスト検証会
長崎県五島市長マニフェスト検証会

○その他

- 平成12年 バイクイベント長崎ピースラリーを毎年開催
骨髄バンクドナー登録推進運動を発信中
- 平成17年 (公社)大村青年会議所第46代理事長
おおむら夏越まつり実行委員長
- 平成20年 (公社)日本青年会議所第34代長崎ブロック会長
北方領土へ上陸視察・日本人墓地清掃
- 平成23年 宮城県にて災害復興支援ボランティアに参加
平成24年 骨髄移植のドナーとなり骨髄を提供
平成25年 櫻井よしこ塾頭・
日本JCグローバルリーダー育成塾 最優秀塾生
東日本大震災支援活動「復興フォーラムin大村」開催
- 平成26年 グローバルリーダーネットワーク副代表に就任
中小企業振興基本条例勉強会コーディネーター

○趣味：バイク・替え歌・山あるき



○最新動向は各種SNSにて！
リクエスト、フォロー待ってます！



北村タカトシ事務所

〒856-0847 大村市西部町264-1

TEL:0957-52-7731(ベイサイド大村内)

ホームページ <http://takatosi.net>

メール info@takatosi.net

セキュリティソフトにより、メールが自動削除される場合があります。
返信がない場合やお急ぎのご用件はお電話でお願いいたします。

政治をイノベーション!!